



新堀小だより

笑顔・挑戦・誇り 学校有用感あふれる新堀翔楽光(しょうがっこう)

新堀小 HP



心配り…最後は感謝

【 「心配」は素敵な言葉 】

皆さんは「大丈夫？心配です」と言われたらどう思いますか。「自分はダメなのかな。よくな
いことがあるから心配をかけているのかな」な
どと否定的にとらえてしまいませんか。

「心配」の意味を調べると、確かに「①あれこ
れと考えてなやむこと。気がかり。不安。」とあ
りますが、もう一つ「②心くばり。気づかい。」
(小学館「例解学習国語辞典」第11版より)と
いう意味もありました。

「心配」は、「心配り(こころくばり)」を音読
みした言葉だそうです。すなわち相手を気にか
け、気遣うことがもともとの意味で、そして「気
にかける」ことから、気がかり、不安、モヤモヤ
する気持ちなどを表すようになったのでしょう。

「相手のことを思いやる意味があるというこ
とを知ると、「心配」という言葉のイメージが変
わります。例えば「あなたのことが心配です」
は、「あなたのことを気にかけています」という
優しい気持ちが入っている素敵な言葉だととら
えることができます。何となくほっとします。

学校生活では多くの子供たちが楽しく毎日を
過ごしていますが、表面的には分からない不安
があるかもしれません。先生たちや子供たちに
関わる職員は、子供たちのことを大切に思い、
心を配り、気かけ、心配しています。ご家庭で
も同様だと思います。たくさんの子供たちのこ
とを心配していきましょう。

【 「三つのカン」～6年修学旅行から 】

5月28日から1泊2日で、6年生にとって
最大の楽しみの一つである修学旅行に、私も同
行してまいりました。出発前に校長として子ど

もたちに、「あおいこころみせる」と併せて「三
つのカン」を感じられる旅行にしてほしいと話
しました。それは、「関心」「感動」「感謝」でし
た。

修学旅行は、楽しい行事であると同時に、大
切な学びの機会でもあります。自然や歴史に自
ら関心をもち、さまざまなことに触れて心を動
かし、相手を思いやる気持ちや感謝の心をもっ
て行動することが大切です。私は、子どもたち
にこの「三つのカン」をしっかりと味わってほし
いと伝えました。

実際に現地では、子どもたちは進んで歴史あ
る建物や、新座ではなかなか味わえない豊かな
自然に触れていました。そして、感じたことを
素直に言葉で表現したり、文章にまとめたりす
る姿が見られました。また、宿泊先の方々への
感謝の気持ちを、あいさつや行動でしっかり表
していました。さらに、仲間と協力することの
大切さを学ぶよい機会にもなりました。

小学校では、全校を引っ張る6年生の役割は
とても大きいものです。修学旅行を終えた6年
生には、そこで学んだ「三つのカン」を今後の学
校生活に生かし、全校のリーダーとして自信を
もって活躍してほしいと願っています。また、
他の学年の子どもたちにも、そんな6年生の姿
に憧れをもち、よいところを見習ってほしいと
思います。そうした姿が広がっていくことで、
新堀小学校はさらによりよい学校になっていくと信
じています。

5月の校長室企画で、校長室で
学年・学級ごとにお話会をしてみま
した。新しい学年での意気込みも聞
けて、思いが伝わってきました。

